

# 住みよい街作りを目指して 税金の納期内の納付をお願いします

市 税や国民健康保険税などの税金は、社会保障・教育・ゴミ処理など、私たちが安心して健康に暮らすための財源として大切に使われています。多くの人は納期内に納付しています。しかし、納期内に納付しない一部の人に、督促状などの送付を行わなければならない、行政サービスの提供に使われるはずだった税金をその経費に充てています。充実した市民サービスを提供するための財源が失われるため、滞納は私たちの生活に関わる大きな問題です。

課税課整理係 ☎ 63-1353  
徴収係 ☎ 63-1362

## 税金は納期内に納付してください

納税は国民の義務であり、税金の納付は納期内の自主納付が原則です。納期限を過ぎても納付がないときは、期限内に納付した人との公平性を保つため、本税のほかに銀行の預金金利よりもはるかに高い、年 8.9%の延滞金がかかり、差し押えなどの滞納処分の対象にもなります。一人一人が意識を持って納期限を守ることが大切です。

## 市民サービスセンターのご案内

あらおシティモール 2 階の市民サービスセンターでは、土曜・日曜・祝日も午前 10 時 30 分から午後 7 時まで納付できます。納付書（使用期限内の督促状を含む）をご持参ください。

※納期限を過ぎた納付書は収納課だけで取り扱います。

## 忙しい人は口座振替のご利用を

一度手続きすれば毎年継続されます。忙しい人に最適です。下記金融機関窓口で申し込みできます。納税通知書、預貯金通帳、印鑑（金融機関お届け印）をお持ちになって、お手続きください。

### ●口座振替できる市税など

市県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税

※市内の金融機関には申請書を設置しています。市外で手続きをする人は、市役所に取りに来るか、郵送しますのでご連絡ください。

取扱金融機関	
肥後銀行	福岡銀行
熊本銀行	西日本シティ銀行
熊本中央信用金庫	九州労働金庫
大牟田柳川信用金庫	玉名農業協同組合
三井住友銀行	ゆうちょ銀行（郵便局）

## 納税が難しい人は早めに相談を！

災害や盗難、本人や家族の病気、事業の休廃止、失業、多重債務などで納付が難しい場合は、早めに収納課へご相談ください。

## 納期限をメールでお知らせします

税の納期限 3 日前までに登録いただいたパソコンや携帯電話に電子メールで納期限日（口座振替日）をお知らせします。メール配信サービス（愛情ねっと）は無料ですが、メールの受信やインターネット接続などに伴う費用は、利用者の負担になります。次のアドレスから接続し、ご登録ください。

### 【パソコン用】

<https://ai-jo.net>

### 【携帯電話用】

<https://ai-jo.net/mobile/>



☎ 携帯電話用 QR コード

## 差し押さえ不動産の公売会を実施

●日時 10月11日(金)

午後 2 時～（受付：午後 1 時 30 分～）

●場所 市役所 入札室

### ●公売方法

一般競争入札（期日入札）

※公売物件の公売保証金など詳しくは市ホームページをご確認ください。また、現地や登記簿などを確認してから入札してください。

### ●持ってくるもの

公売保証金、印鑑、身分証明書（運転免許証など）、買受適格証明書（②の入札希望者のみ）

※買受適格証明書は、8月23日(金)までに市農業委員会に申請してください。

※法人や代理人が入札する場合は、他にも書類が必要です。

●注意 公売会開始までに滞納金が完納された場合は、公売を中止します。

### ●公売物件

※広さは登記簿上の地積を表します。

物件番号	所在地	地目	面積	最低入札価格
①	四ツ山町三丁目 31 番 5	宅地	103.72㎡	131 万円
②	増永字南磯屋敷 1041 番 1	畑	399㎡	276 万円



お困りのことがあるときはご相談を。



# 暑い季節がもうすぐそこ！ 熱中症にご注意ください

☎ すこやか未来課健康増進係  
☎ 63-1133

## 熱中症って何？

熱中症による救急搬送者は年代別では 65 歳以上が 5 割近くを占めています。命に危険がおよぶこともある熱中症ですが、予防や適切な処置で悪化を防げます。周囲の人と声を掛け合いながら、熱中症をみんなで防ぎましょう。

体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節ができなくなったり起きます。特に子どもや高齢者は、高温多湿の環境に体を適応させる力が弱いので、熱中症にかかりやすく、重症化もしやすくなります。今年の 5 月 20 日～26 日の救急搬送された人は、昨年と比べ 3 倍以上の 2053 人にのぼり、死亡者も出ています。

## 熱中症の症状にはどんなものがあるの？

軽度…めまい、立ちくらみ、多量の汗、こむら返りなど。  
中度…頭痛、だるさ、吐き気など。  
重度…立てない、けいれん、意識がない、体が熱いなど。  
重度の症状が現れたら、速やかに救急車を呼びましょう。

## 予防のポイントとは？

①のどが渴かなくても、こまめに水分をとる。

「ビールやコーヒーを飲んでいるから大丈夫！」と思つていませんか。アルコールやカフェインには利尿作用があり、脱水症状を引き起こしやすくなります。水分補給として飲むのは控えましょう。

## ②塩分をほどよく取る。

大量の汗をかくときは、特に塩分補給をしましょう。ただし、医師から水分や塩分の制限をされている場合は、よく相談をして、医師の指示に従いましょう。

## ③暑さを避ける。

屋外…帽子や日傘を使う。  
室内…エアコンや扇風機を上手に使い、温度は 28 度を超えないのが理想です。

## この人熱中症かも…、そんなときどうする？

①涼しい場所で休ませる。

②衣服を緩めて、体を冷やす。

③塩分や水分を補給させる。  
※嘔吐している時や意識がない時は、むりやり水分を飲ませないでください。

④自力で水が飲めない、意識が無いときは、すぐに救急車を呼んでください。

④バランスのよい食事やしつかりとした睡眠をとり、体調を整える。

⑤体調に異変を感じたら早めに休憩をとる。



## 体を冷やすときの位置

